

床遮音材 わんぱく応援マット 施工要領書

(マンションでも ごろ寝フローリング)

木下地に張る場合

はじめに

マンションなど、床の遮音性能を要求される場合に効果を発揮するのが、床遮音材(わんぱく応援マット)です。わんぱく応援マットの施工は至って簡単、無垢フローリングと床下地の間に挟むだけです。それで、最大LL45までの遮音性能を発揮します。

また、木下地への施工の場合は、接着の必要がありません。

施工前のご注意ほか

1. 床の遮音制限があるマンションでは、通常、管理組合の許可なくして、フローリングへの張替えはできません。その場合、管理組合に提出する書類のご用意がありますので、ご相談ください。
2. リフォームで使用する場合、わんぱく応援マットを挟んだ分だけ、床の高さが既存より高くなる場合があります。そうした場合でも、通常は建具(ドア)の下を切って調整できます。
3. 合板フローリングの場合は床遮音マットに直接施工することも可能ですが、巾が狭い無垢フローリングを施工する場合、直張りはお勧めできません。(床が安定しません)
4. わんぱく応援マットには2種類のゴムがあります。通常品のアスファルトゴムと、床暖房対応品の合成ゴムです。遮音性能はアスファルトゴムの方が若干優れていますが、臭いがない点では合成ゴムの方が優れています。
5. わんぱく応援マットは、水洗い厳禁です。フェルト部分が水を吸ってしまいます。

下地の施工

1. 根太材は45mm角以上の乾燥材を使用し、約300mmピッチに設置してください。
2. 厚さ12mm以上の合板を捨張りしてください。捨張合板の継ぎ目が同じ位置にならないよう千鳥(交互)に張ってください。
改正建築基準法に適合した合板(その他の下地材)を使用してください。
3. 合板の継ぎ目などの段差は、0.5mm以下になるように施工してください。
4. 下地表面は、不陸の原因となる異物を綺麗に取り除いてください。

自然がきもちいい はなまるエコ建材専門店

アトピッコハウス株式会社

〒231-0064 神奈川県横浜市中区野毛町 2-90-308

TEL:045-241-8812 FAX:045-241-8718

<http://www.atopico.com/> info@atoico.com

床遮音材(わんぱく応援マット)の敷き込み

1. 床下地が完成したら床遮音材(わんぱく応援マット)を敷いてください。必ず、フェルト面を下にして施工してください。

アスファルトゴム製品の場合は、張ってあるフィルムを剥がしてから敷く

2. わんぱく応援マットを床全体に敷き並べてください。
3. 壁の周囲、敷居際等は、荷重による沈み込みを防止するため、際根太を設置します。
フェルトの部分をカッターなどで取り除き、その部分に同じ厚みの際根太を入れてください。

下地合板の施工

1. わんぱく応援マットの敷き込みが完了したら、合板(9mm以上)を捨張りすることを強くお勧めします。
2. 捨張合板の継ぎ目が同じ位置にならないよう千鳥(交互)に張ってください。
3. 捨張合板はしっかりと下地に固定させてください。
4. 改正建築基準法に適合した合板(その他の下地材)を使用してください。

接着剤の塗布

1. ごろ寝フローリングを施工する際には、接着剤と釘を併用してください。
2. 接着剤を使用しない場合、床鳴りの原因となります。
3. 接着剤が実(さね)の中に入らないように注意してください。
4. 改正建築基準法に適合した接着剤(ゼロホルム合接着剤を推奨)を使用してください。
5. 接着剤が床表面についた場合は、速やかに灯油等を含ませた布で拭き取ってください。
6. 接着剤の使用方法は、メーカーの取扱説明書にしたがってください。
(中央部に一列で塗布する場合と、ビート状に塗布する場合があります)

フローリング張り

1. 釘止めは約300mmピッチとしてください。
2. 釘は保持力のある接着剤付きステーブルまたは、スクリュー釘等で施工してください。
(フィニッシュネイル、ブラッドネイルの使用はおやめください)
3. 冬場は夏場のフローリングの膨張を、夏場は冬場のフローリングの収縮を考慮し、スペーサーなどを利用して、隙間を空けて張るようにしてください。
4. フローリングを実(さね)に入れる際、雄実(おざね)に「当て木」を当てて、それを叩いて入れてください。直接叩くと割れの原因となります。
5. 張り始め、張り仕舞(部屋の周辺部等)は、突きつけではなく、差込(巾木下に入れる)施工とし、最低5mm程度隙間を空けてください。
6. 張り込み後は表面保護のため、直ちに防湿養生シートを全面に敷いて養生テープで止めてください。
養生テープは粘着力の弱い床専用のものをお使いください。

床暖房の工事と併用する場合

床暖房をお使いの場合は、合成ゴム製品をお使いください。アスファルトゴム製品は、臭いが出る場合があります。

床遮音材 わんぱく応援マット 施工要領書

(マンションでも ごろ寝フローリング)

コンクリート床下地に直接張る場合

はじめに

下地の床がコンクリート直接の場合でも、床遮音材(わんぱく応援マット)を施工することで、ごろ寝フローリングを施工することが出来ます。わんぱく応援マットをコンクリート床面に直接接着することで、最大 LL45 までの遮音性能を発揮します。

施工前のご注意ほか

1. コンクリート床直接の施工の場合、平滑なモルタル下地を作ってください。
2. 部分的な凹凸は必ず補修してください。また、下地の不陸は1mで3mm以内としてください。大きな不陸があると、「浮き」「床鳴り」の原因になります。
3. モルタル等で補修した場合、下地を十分に乾燥させてください。
4. 下地表面は、不陸の原因となる異物を綺麗に取り除いてください。
5. 床遮音マットは、水洗い厳禁です。フェルト部分が水を吸ってしまいます。
6. その他の注意は、木下地の施工要領書に準じてください。

床遮音材(わんぱく応援マット)の敷き込み

1. 下地の準備が出来たら、下地面に接着剤(セレクトィUR-145を推奨)をクシゴテで均一に塗布してください。際根太を設置する場所は、あらかじめフェルト部分を除去しておく。
2. わんぱく応援マットを敷き込んでください。必ず、フェルト面を下にして施工してください。アスファルトゴム製品の場合は、張ってあるフィルムを剥がしてから敷く
3. 壁の周囲、敷居際等は、荷重による沈み込みを防止するため、際根太を設置します。フェルトの部分をカッターなどで取り除き、その部分に同じ厚みの際根太を入れてください。

自然がきもちいい はなまるエコ建材専門店

アトピッコハウス株式会社

〒231-0064 神奈川県横浜市中区野毛町 2-90-308

TEL:045-241-8812 FAX:045-241-8718

<http://www.atopico.com/> info@atoico.com

下地合板の施工

- 1．わんぱく応援マットの敷き込みが完了したら、わんぱく応援マットの上に、クシゴテで接着剤(セレクティUR - 145を推奨)を均一に塗布してください。
- 2．合板(9mm以上)を捨張りしてください。
- 3．捨張合板の継ぎ目が同じ位置にならないよう千鳥(交互)に張ってください。
- 4．捨張合板はしっかりと、わんぱく応援マットに固定させてください。
- 5．改正建築基準法に適合した合板(その他の下地材)を使用してください。

接着剤の塗布

- 1．ごろ寝フローリングを施工する際には、接着剤と釘を併用してください。
- 2．接着剤を使用しない場合、床鳴りの原因となります。
- 3．接着剤が実(さね)の中に入らないように注意してください。
- 4．改正建築基準法に適合した接着剤(ゼロホルム接着剤AU - 01アトピッコハウス社製を推奨)を使用してください。
- 5．接着剤が床表面についた場合は、速やかに灯油等を含ませた布で拭き取ってください。
- 6．接着剤の使用方法は、メーカーの取扱説明書にしたがってください。
(中央部に一列で塗布する場合と、ビート状に塗布する場合があります)

フローリング張り

- 1．接着剤と、釘打ちを併用してフローリングを施工してください。
釘を効かせることが出来ない場合は、接着剤の塗布量、塗布は満遍なく丁寧に行ってください。
- 2．釘止めは約300mmピッチとしてください。
- 3．可能な場合は、コンクリート面に届く長さの釘打ちが理想です。
- 4．冬場は夏場のフローリングの膨張を、夏場は冬場のフローリングの収縮を考慮し、スペーサーなどを利用して、隙間を空けて張るようにしてください。
- 5．フローリングを実(さね)に入れる際、雄実(おざね)に「当て木」を当てて、それを叩いて入れてください。直接叩くと割れの原因となります。
- 6．張り始め、張り仕舞(部屋の周辺部等)は、突きつけではなく、差込(巾木下に入れる)施工とし、最低5mm程度隙間を空けてください。
- 7．張り込み後は表面保護のため、直ちに防湿養生シートを全面に敷いて養生テープで止めてください。
養生テープは粘着力の弱い床専用のものをお使いください。

床暖房の工事と併用する場合

床暖房をお使いの場合は、合成ゴム製品をお使いください。アスファルトゴム製品は、臭いが出る場合があります。